

里ちゃんだより

里庄町教育委員会

電話 0865-64-7212



教育長あいさつ

里庄町教育委員会 教育長 杉本 秀樹

町民の皆様方には、教育行政の推進につきまして、何かと大変お世話になりまして心より感謝申し上げます。

さて、里庄町の教育行政の推進につきましては、「未来を拓く人づくりと文化活動の展開」を基本目標として進めております。

具体的には、人と人とのつながりをさらに深め、自分のよさや人のよさを再認識しながら、お互いが笑顔と共により豊かな毎日を過ごせる営みを、充実させていきたいと考えています。

まず、子どもたちの教育におきましては、子どもたちが学校や家庭、地域の中で生き生きと生活することができる環境を整えることが大切です。子どもたちがいろいろな力を付けるため

に、何よりも必要なことは、心が安定し落ち着いた暮らしができることです。しかし、子どもたちの中には、スマートフォンなどの使い方や使用時間等に問題があり、生活が乱れやすくなっている子もいます。学校での指導も大事ですが、各ご家庭での約束や指導も重要です。また、お礼や感謝の気持ちも込めた、あいさつができる子どもたちであってほしいとも願っています。そして、いろいろな場面で、豊かな体験を積極的にしてほしいとも考えています。あいさつや体験をすることで、自他を大切に作る気持ちを育み、自ら考える習慣を身に付けながら、知恵も付けてほしいと願っています。

子どもたちが学校や地域でいろいろな力を伸ばすためにも、家庭でしつけるべきことはしつけ、頑張りや伸びしろ、素直さなどをしっかりと認めることが大切だと考えています。そして、地域の皆様方にも、各方面からのお支えをいただきながら、子どもたちの健全な成長を応援したいと考えています。

次に、生涯学習におきましては、大人の皆様方の文化活動やスポーツ活動、町づくりや人づくりの活動など、生涯学習のよさを一人でも多くの方に実感していただくことが大切です。人と人とのふれあいの中で、自分の成長を感じたり、人のよさやありがたさに触れたり、人の役に立つ充実感を味わったりすることなどの喜びを感じ取っていただきたいと願っています。

これからも、大人も子どもも一人ひとりが充実した心地よい毎日を過ごすことができますように、皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



里庄町の子どもたちの学力は？（全国学力・学習状況調査の結果より）

全体としては、ここ数年、全国平均と比べて、よい年もあれば、やや低い年もあり、特に大きく心配する状況は見られません。本年度、小学校は、国語と算数は全国平均を上回りましたが、理科は全国と同じでした。中学校は、国語と理科は全国を上回りましたが、数学は、わずかに全国を下回りました。子どものよさやがんばりを的確に認めながら、一人ひとりの子どもがもっている力を、さらに伸ばしていくことが大切だと考えています。

○よくできているところ：漢字・計算など基礎的な内容が身に付いていること。

★課題と考えているところ：目的に応じて文章を書いたり、説明したりすること。

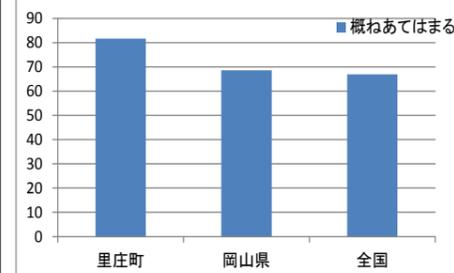
そこで、里庄町では、小学校と中学校が連携して、学力向上の重点目標を次の3点に絞って、充実を図っています。

- ① 基礎・基本の徹底
- ② 表現力の育成（書く力）
- ③ 家庭学習の充実

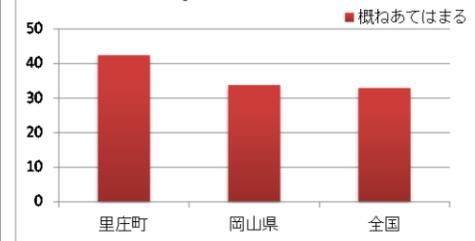
今後も、学校・家庭・地域で力を合わせ、「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」の育成に全力で取り組んでまいります。

里庄町の子どもたちの意識は？

今住んでいる地域の行事に参加していますか。(小学校6年生)



地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。(中学校3年生)



町内の小学校6年生は、岡山県や全国の子どもと比べて、地域の行事によく参加すると回答しています。また、町内の中学校3年生は、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した子どもが多いという結果になりました。これらは、小学校、中学校ともに見られる傾向でした。地域の行事に参加することで、体験を増やしたり、社会との関わりについて考えたりすることは、学ぶ目的や意義を考える上でとても大切なことであると考えます。里庄町の子どもたちのよさをさらに伸ばしていきたいと考えています。

～規則正しい暮らしを送るために家庭でできること～

- 携帯電話やインターネットをする時間が長時間にならないようにする。そのために、家で約束を決めて、きちんと守らせる。
- 家庭学習（予習・復習も）をきちんとする。そのために、学習の様子を見たり、見守ったりして、子どもが頑張れるように、励ます。

それぞれのご家庭での、無理のない取り組みをお願いいたします。

主体的に学ぶ生徒の育成をめざす

里庄中学校長 三宅 浩一

本校では、①落ち着いた集団づくり②確かな学力保障（達成感のある授業から）③豊かな人間形成の育成を本年度の重点としています。特に、研究主題を「主体的に学ぶ生徒の育成をめざした指導の研究～学び合う活動と学びを支える集団づくりを通して～」として、授業改善に向けての取り組み（全教職員が年間で一度研究授業を行う、授業づくりや生徒と教職員間の人間関係づくりの研修）や学習時間の確保に向けた取り組み等を行っています。

【平成27年度 全国学力・学習状況調査（3年生を対象に実施）の結果】 全国平均との比較

国語 よい 数学 わずかに低い 理科 よい

☆よくできていたこと

- ・国語では、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」
- ・数学では、「数と式」「図形」「資料の活用」
- ・理科では、「物理的領域」「化学的領域」「生物的領域」
- ・学校のきまりを守り、家で学校の宿題をしている生徒が、9割程度いる。

★課題となっていること

- ・国語では、「慣用句、ことわざ、表現技法など語句の知識・理解」「目的に応じて文章を要約する」「資料を活用して自分の考えや理由を具体的に書く」
- ・数学では、「活用の問題」「関数」
- ・理科では、「天気分野」
- ・家庭学習の時間が少ない生徒の割合が多いこと。

○今後、取り組んでいくこと

すぐに取り組む内容として、①落ち着いた集団づくりでは、「基本的な生活習慣の定着」「生活規律の徹底（あいさつ、美化、履物、話の聞き方）」「学級満足度検査の有効活用」②確かな学力保障では、基礎学力の定着を目指し、「学習規律の徹底」「岡山型学習指導のスタンダード（学習の手引き）の活用」「反復学習と補充学習」の指導を継続していきます。

中・長期的に取り組む内容として、②確かな学力保障では、「校内研修の充実と授業改善への取り組み」「全国・県学力学習状況調査の有効活用」「小中連携による里庄町学力向上重点目標の徹底指導」③豊かな人間形成の育成では、「人間教育・道徳教育の推進」「特色ある教育活動の展開」の充実を図ります。

その他、学習や生活に関わる小中連携の取り組みや保護者・地域へ理解・協力を求めることを進めています。

【平成27年度 県学力・学習状況調査（1年生を対象に実施）の結果】 県平均との比較

国語 よい 社会 よい 数学 わずかに低い 理科 わずかに低い

★課題となっていること

- ・社会では、基礎より活用の成績が高いが、他の教科は活用が低い。
- ・ふだん、1日あたり、テレビを見たり、ゲームをしたりする生徒の割合が多い。

現在の里庄中学校の生徒は、「体育会など行事に一生懸命取り組むことができる」、「あいさつができる」、「靴をそろえることができる」など多くの素晴らしい点があります。これも学習の土台となる落ち着いた集団づくりの成果だと思えます。学校では、このような落ち着いた集団づくりを基盤として、教師の校内研修の充実と授業改善への取り組みを通じ、生徒の基礎学力の定着を図り、主体的に学ぶ生徒の育成を図ります。



公開研究授業

さとみの子の「学ぶ力」を育てる

里庄東幼稚園・小学校長 谷本 知之

本校では、落ち着いた学級集団づくりに取り組むとともに、算数科を中心とした学力向上策を実施したり、授業改善に努めたりしてまいりました。その結果、一定水準並みかそれ以上の結果を残すことができるようになってきました。

【平成27年度 全国学力・学習状況調査（6年生を対象に実施）の結果】 全国平均との比較

国語 よい 算数 よい 理科 よい

☆よくできていたこと・・・国語では、「漢字の読み書き」

「内容を整理して書く」

算数では、「計算問題」「数量関係」「面積」

学習状況の意識調査では・・・「地域行事に多く参加」

「学習の振り返りができている」

★課題となっていること・・・国語では、「登場人物の相互関係をとらえる」

算数では、「グラフの意味を読み取る」

学習状況の意識調査では・・・「ゲームの時間が多く、家庭学習が少ない」

○今後、取り組んでいくこと

「国語では、目的や意図に応じて、内容を整理して書く指導や音読指導」「算数・理科では、操作や体験を伴った理解になる指導」「学習を生活に生かす指導」「家庭生活では、ゲーム、テレビの時間を減らし、家庭学習の時間を確保」「読書の習慣化」の点から学習や生活習慣の改善に努めるとともに、児童に適切な学習アドバイスを行っていきます。

幼稚園においても、小学校の学びの土台となる心情・意欲・態度（健康・人間関係・環境・言葉・表現について）を、環境にかかわって展開する活動を通して育てていきます。



一緒に学ぶって楽しい!

基礎基本を徹底し、思考力を高める

里庄西幼稚園・小学校長 渡邊 一雅

本年度4月に第6学年を対象に実施された全国学力・学習状況調査の本校の結果は、全国平均と比較して見ると、次のとおりでした。

【平成27年度 全国学力・学習状況調査（6年生を対象に実施）の結果】 全国平均との比較

国語 よい 算数 よい 理科 わずかに低い

☆よくできていたこと

「話す・聞く力」「書く力」「読む力」とも全国平均以上で、安定した力が発揮できています。算数科の「量と測定」領域は、高正答率でした。授業に真剣に、そして前向きに臨んでいる児童がとても多い状況です。また、「家で学校の授業の復習をする」児童の割合も高く、家庭学習を頑張っている様子が表れています。

★課題となっていること

基礎的な漢字の習得と分数の計算、理科の「観察・実験の力」が課題となっています。また、「将来の夢や目標をもっている」「家の人に学校での出来事を話す」などの項目が全国より下回っています。

○今後、取り組んでいくこと

学力向上には、授業でどれだけ力をつけるかが重要です。そのためにも学習規律を徹底し、落ち着いた環境で授業を進めることができるように努めます。基礎的な学習力が身に付くように、国語・算数の基礎学習を、朝の学習や特設時間で反復練習します。

幼稚園では、コミュニケーション力（話す力・聞く力）の育成に向けて、しっかり話を聞き、自分の気持ちや思いを言葉で伝えることを生活や遊びの中で鍛えます。本読みを好きになる子どもを育て、幅広い関心・興味をもたせます。



算数科の少人数指導